

こすもスマイル 60号

発行／小林市立病院 地域医療連携室 令和5年3月

～事務部長のあいさつ～



日頃より当院の運営並びに地域連携にご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。政府はようやく新型コロナウイルスの取扱を「5類」相当に移行することを決めました。今後、私たちの暮らしにどのように影響するのか興味深いところです。

さて、本紙 54 号の続編として公立病院改革の進捗をご報告します。国は公立病院について、「経営形態の見直しなどに取り組んでいるものの医師等の不足、医療需要の変化などから持続可能な経営を確保しきれていない。しかしながら、感染症対応における役割の重要性により平時から病院間の明確な役割分担や人材確保などを進めておく必要がある。さらに、医師の働き方改革への対応など依然として厳しい状況が見込まれる。そこで、持続可能な地域医療提供体制を確保するため、限られた医療資源を地域全体で最大限有効活用するという視点を最重視し、新たな感染症対応の視点も持ちつつ経営を強化することが重要」との認識のもと、公立病院経営強化ガイドラインを通知し、令和5年度末までに「経営強化プラン」を策定するよう市町村に要請しました。

このことを受けて当院では市の医療介護連携室や西諸各公立病院と情報共有しながら公立病院の役割分担や連携のあり方、医師等の人材確保などについて協議を重ねています。そして、来年度には西諸3市町共同で西諸医療圏の医療需要等の調査を行い、経営強化プランを策定することとしています。

そもそも医療資源が乏しく、県立病院や国立病院などが設置されていない西諸医療圏で「持続可能な地域医療提供体制の確保」は非常に険しい道のりですが、当地域の公立病院が地域医療の「砦（とりで）」として、関係各位のご理解とご協力の下、あらゆる角度で持続可能性を模索し、経営強化に取り組んでまいりますので、引き続きご指導よろしくお願い申し上げます。

小林市立病院 事務部長 貴嶋 誠樹

【理念】

「安心、安全で信頼される病院を目指します」

【基本方針】

- ◎ 西諸の中核病院として、地域の医療機関と連携し、高度な医療を提供します
- ◎ 職員一丸となって、迅速な対応とチーム医療で、安全な医療を提供します
- ◎ 誠実かつ真摯（しんし）な姿勢で日々研鑽（けんさん）に努め、信頼される質の高い医療を提供します
- ◎ 自治体病院として、平等で心が通い合い、安心できる快適な療養環境を提供します
- ◎ 患者様と家族の満足を追求し、プライバシーの保護をはじめ患者様の権利を尊重します



泌尿器科紹介



日頃より大変お世話になりありがとうございます。

新型コロナ第7波、8波と翻弄され続けている状況ですが、いかがお過ごしでしょうか。

2022年1月から12月までの腹腔鏡手術の実績は腎摘除術：4例、前立腺全摘除術：23例、膀胱全摘除術＋尿路変更術：3例、膀胱脱根治術：1例、そのほか経尿道的内視鏡手術は尿路結石レーザー破砕術：41例、膀胱腫瘍切除術：30例、前立腺核出／切除術：11例でした。

年末の感染拡大の影響もあり昨年よりやや減少しておりましたが、引き続き最善の治療が行えるよう努力して参ります。

尿管結石のお話。突然の腰背部痛（激痛）で発症することが多いです。七転八倒し救急搬送されることも多いです。原因は尿管に結石が詰まってしまい尿の流れが塞ぎ止められて腎盂内圧が急激に上昇することによります。しかし、痛みを我慢して放置すると内圧の上昇により尿の生成が止まり内圧の変化がなくなり痛みが軽減、鈍化します。治ったと勘違いして放置し続けると数ヶ月から数年で腎機能が廃絶してしまうこともあります。

尿路結石と診断されたら定期的に専門医を受診しましょう。

泌尿器科科長 森 勝久

3階病棟紹介

3階病棟は、整形外科・泌尿器科・救急科を主とした46床の急性期一般病棟です。患者さんが安心して入院生活を送ることができ、早期に回復されますよう、多職種を含めチーム一丸となって看護ケアに取り組んでいます。

さて、本年度は3名の新入職員を迎えました。コロナ禍で共に頑張ってきた3名に、この一年を振り返って、今後の抱負など聞いてみました。

看護師：吉村 優

新社会人として働き始め、最初は分からないことだらけでしたが、所属長をはじめ先輩方に支えられながら、多くのことを学ぶことが出来ました。教えて頂いたことを活かして、患者さんのところに寄り添える看護師として頑張っていきます。



看護師：新地 麻美（写真・左）

この一年間、大変な時もありましたが、先輩方や同期の支えもあり、色々なことを学び、充実した日々を送ることが出来ました。今後も患者さんの気持ちを考え、信頼される看護が提供できるよう頑張ります。



看護師：小川 侑惟（写真・右）

初めての分野で、病態や処置・薬剤など分からないこともたくさんありましたが、先輩方や同期の支えにより、多くの学びを得ることが出来ました。これからも看護師として成長できるように努力していきます。

3階病棟 主任看護師 今井 まり子・安田 修一郎



栄養情報だより



〈臨床栄養室〉

寒さもやわらいで少しずつ暖かい日が多くなってきました。

皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

春の食材には栄養が沢山です。どんな食べ方をするか考えるのも楽しいですね♪

春の食材を食べて元気に過ごしましょう

新たまねぎ

通常の玉ねぎと比べて表面の皮が薄く、みずみずしくて辛みが少ないので、スライスして水にさらさずにそのまま食べられます。たまねぎに含まれる辛味成分である硫化アリルは、**疲労回復に効果のあるビタミンB1**の吸収を高めてくれる働きがあるとされています。



たけのこ

天ぷらや煮物にして食べると美味しい春の風物詩ですね。収穫して時間が経つとアクが強くなるため、なるべく早く調理するのがおススメ。ゆでた時にできる白い粒状のものはチロシンといわれるもので疲労効果があると言われており、食べても大丈夫です。**食物繊維**が豊富で、腸内環境を整えて**便通をよくする働き**と**血中のコレステロール値を抑える働き**が期待できます。



キャベツ

“新キャベツ”と耳にしますがこれは春キャベツのことです♪冬のキャベツと比べて、巻きがゆるやかで葉が柔らかくみずみずしいため、**サラダなど生食や油炒め、浅漬けに適しています。**

風邪の予防や疲労の回復に効果があると言われる**ビタミンC**、けがの血を固める役割や骨をつくるのに関わりのある**ビタミンK**が豊富です。



しいたけ

かさが開ききっていない、厚みがあって丸っこいものが美味しいしいたけのポイント。たけのこ同様に食物繊維が豊富です。しいたけはうまみ成分のグルタミン酸を多く含んでおり、このうまみ成分のおかげで薄味でも美味しいお料理になるため、減塩対策に有効ですよ。



医事係紹介



今回の医事係紹介では、健康保険証とマイナンバーカードを一体化した場合の医療費負担についてご紹介します。

医療DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進のためのオンライン資格確認の導入・普及の徹底の観点から、「医療情報・システム基盤整備体制充実加算」について、(1)初診時・調剤時の評価を見直し、(2)再診時についても新たに評価を行う特例措置が講じられました。また、あわせてオンライン請求を更に普及する観点から、(3)当該加算の算定要件を見直す特例措置も講じられました。なお、特例措置の期間は令和5年4月～12月となっています。

【医療情報・システム基盤整備体制充実加算】

○施設基準を満たす保健医療機関・保険調剤薬局において、初診又は再診・調剤を行った場合

		現行の加算	特例措置
初診	マイナンバーカードを利用しない	4点	6点
	” 利用する	2点	2点
再診	マイナンバーカードを利用しない	—	2点
	” 利用する	—	—
調剤	マイナンバーカードを利用しない	3点	4点
	” 利用する	1点	1点

(1点=10円)

上記表のとおり、マイナンバーカードを積極的に利用した方が、医療費負担の軽減に繋がります。また、他の医療機関の受診歴や処方されている薬、特定健診の受診歴等が取得・活用される効果があります。マイナンバーカードをまだお持ちでない方は、この機会に申請をご検討されてはいかがでしょうか。

医療費や診療報酬でご不明な点がございましたら、医事係スタッフまでお気軽にお問い合わせください。

医事係長 清水 秀一

西諸華道連盟の皆様から すばらしいお花をいただきました。



スタッフのひとこと

寒い冬が終わり、暖かい春の陽気が少しずつ近づいていますね。春になると、色々な所で草花が芽吹いてくると思います。

なかなか外出等できないところではありますが、テレビやネット等で草花の動画や写真を見たり、自宅で草花を育てたりしながら、植物に癒やされてみてはいかがでしょうか。

感染症が落ち着かない状況ですが、皆様、体調に気を付けてお過ごしください。

地域医療連携室 医療ソーシャルワーカー 時任 由紀奈



連絡先

小林市立病院 地域医療連携室

TEL 0984-23-8225 (直通)

FAX 0984-23-8226

Mail k_hosp4@city.kobayashi.lg.jp